

僕のことをイジメてくる
幼馴染の友達と
裏ではこっそり♡
ヤリまくってる本

成人向け

R18
ADULT ONLY

18歳未満閲覧禁止



お待たせ…

飼ってきたよ…
頼まれてたやつ…

遅い！

たかだか買い物
ひとつで
どれだけ待たせる
つもりなのよ！

ま、まあ結局ちゃんと
買えたのなら
問題ないわよ

お金はちゃんと
渡すから
かかった金額を
教えなさいよ

わあ！
ここが頼んでた
購買限定のプリンも
ちゃんとある！

ズズズズ...

あれいっつも
すぐなくなっちゃうのに
すごいねえ！

+デ

+デ

ムギュッ

頑張って走ったんだねえ！
正宗くんは優秀だ！

...

ちょっと
あんた

私の頼んだ
レモンティーは
入ってない
みたいけど

イラ〜



え
いやたしか
杏莉ちゃんが頼んだのは
やーいお茶
だったはずじゃ…

なんでもいいからさっさと
もう一回買ってきてなさいよ！
あんたの小学生の時の恥ずかしい
写真ばらまくわよ！

いってきます！

…

そういえば杏莉、
私も用事を思い出したから
すこし外させてもらうよ

了解、
部活会議かなんか？
大変ね
バレ部のエース様も

まあそんなところだ



：別にいいのよ
あんなやつ、
ただのパシリなんだから

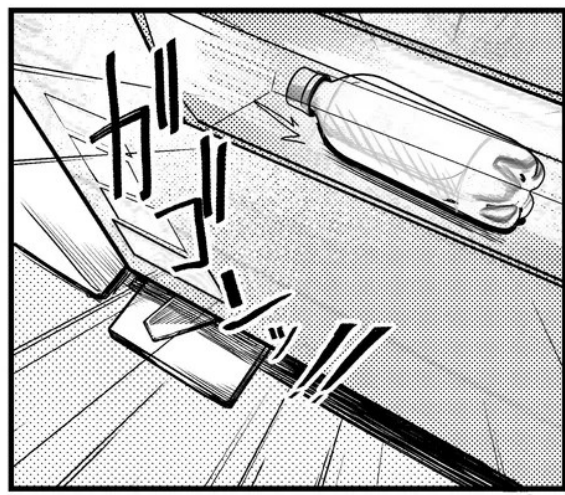
でもそのわり
には毎日
なんだかんだ
かまってて
けっこう
仲よさそうに
みえるけどね

うるさい！



ねえねえ、
正宗くんって杏莉ちゃんの
幼馴染なんでしょ

あんまりキツくいうと
かわいそうじゃない？



はあ、
たしかに
やういお茶って
言ってた
思うんだけどなあ…

キミも毎日
大変だねえ



やあ、
ご苦労様

太刀川さん!?
どうしてここに!

ちよつとキミに話
があるんだ、
少しついてきてくれるかな



そ、それはべつに
かまわないけど…

じゃあ早速
きてもらおうよ

え、

いや、
でもっ

杏莉ちゃんに
頼まれた
もの持って
行かなくちゃ
いけないんだけど...



いつも健気に
頑張ってるキミと

前々からもつとちゃんと
話してみたいとは思
ってたんだ

突然呼び出して
わるいね...

パ
タ
ン

ガ
チャッ
!!





キミは杏莉の
言いなりになって
よくお使いとか
してるだろ？

私はね

そんな犬みたいに
従順な君に

私も少し
ちよっかいを
かけてみた
かったんだ

い、犬…

ギシッ



だから杏莉の代わりに
ちよっとしたお礼を
させてもらおうかと
思ったんだ、

どうかな？

ど、
どうっていわれても…



そ、
それは...



で、でもまずは
これを持って
行かなきゃ...

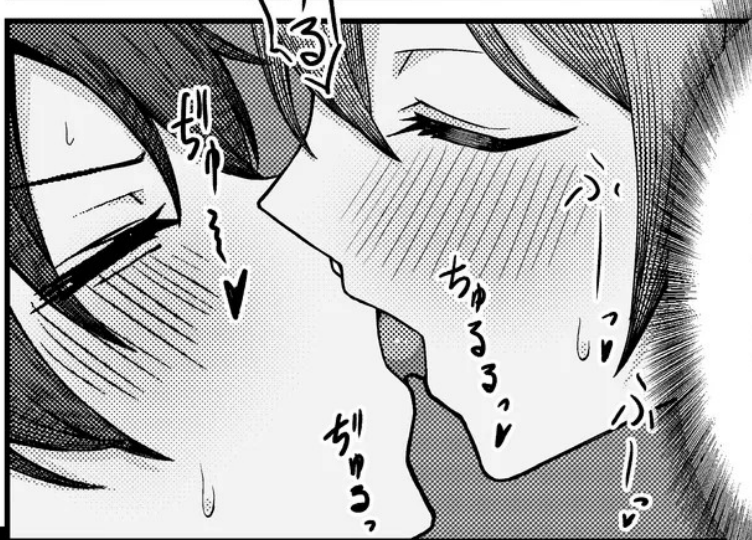
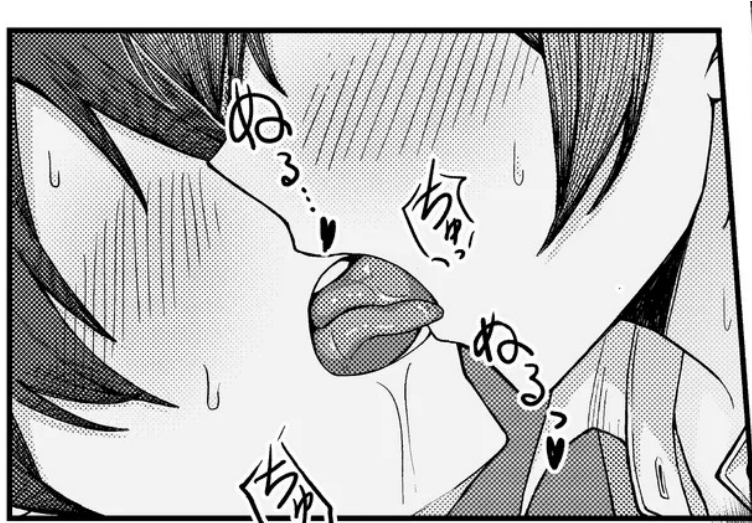
?



むん!?

はむっ♡

がっ



いま、あの太刀川さんと
キ、キスしてるのか...??



いまは杏莉のことは
どうでもいいんだっ

いいから
だまってちんこ出せっ!!



ほら、

その気になれないって言うなら
その気にさせてあげるよ

同級性のパンツ
見ながら

ちんこシゴいて
もらえるんだ、
そうわるいもの
でもないだろ？



なんだ、
思った通りなかなか
立派なものを
持ってるじゃないか

…これは
夢なのか…?

太刀川さんが

僕を
舐めてる…!?



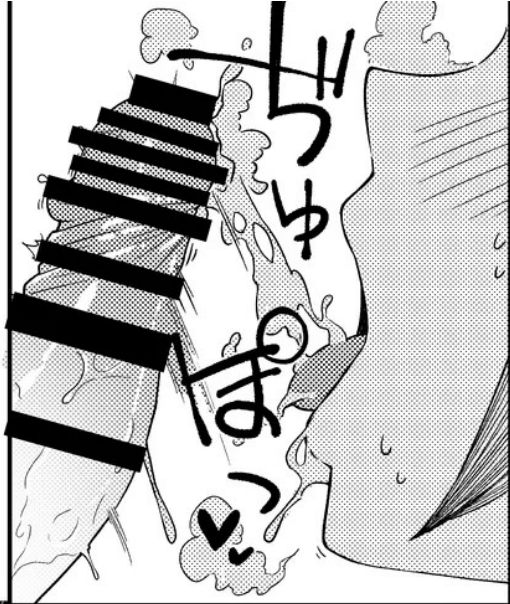
いいね、
すごく熱くて…

それに固い…

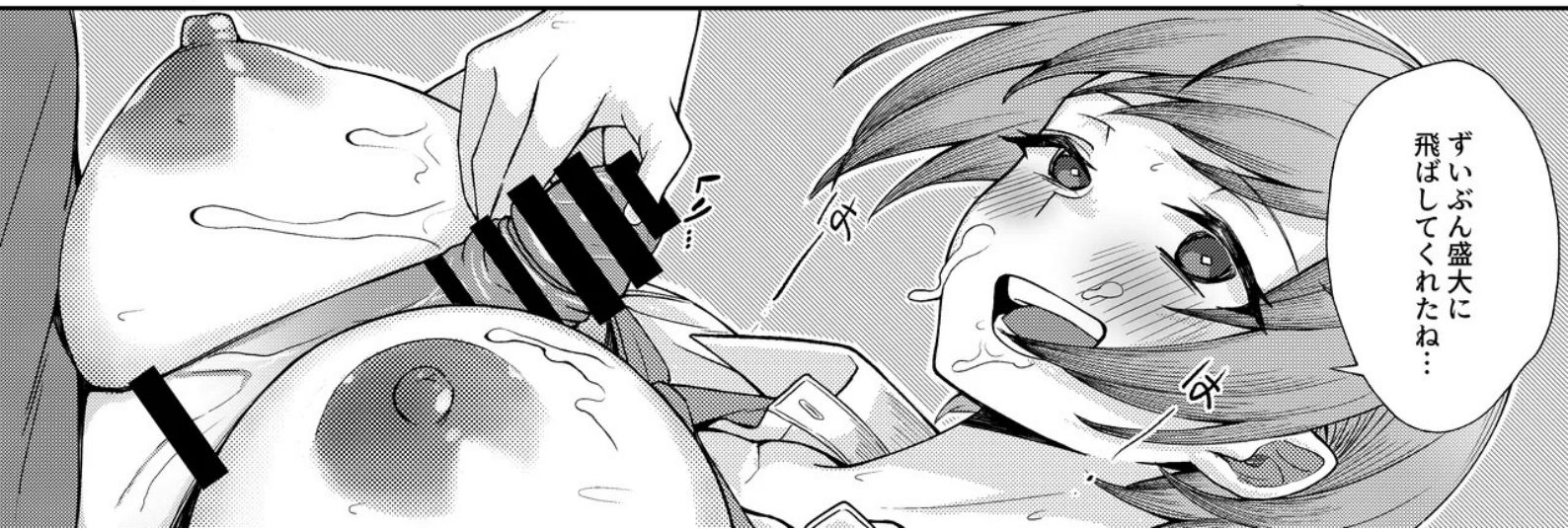
それに固い…

それじゃあ
啜えるよ…？

たっ、
太刀川さん…！

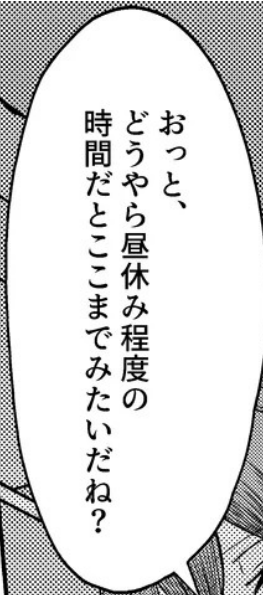








そ、
そんな…!



おっと、
どうやら昼休み程度の
時間だとここまでみたいだね?



そうかわいい顔を
するなよ

またいつでも機会は
あるさ…



それとも…
いつかじゃ我慢
できないかな?

えっ…



それじゃあ、

この続きは放課後に
また付き合っ
てもらおうかな



のどが乾いたから
これはもらっていくよ

杏莉にはうまいこと
言っ
て許して
もらっ
ておいてくれ



その…
ちよつといういろ
あつて結局その後
飲み物買つてこれなくて…

えっと…



ごめん…
杏莉ちゃん…



あんた私のこと
馬鹿にしてんの？

一体なにをどうやったら
たかだか自販機で飲み物
買う程度のことを
失敗するのよ

あんたって昔から
そうよね…！

あちこちにいい顔する
くせになんだかんだ約束は
守らないし…、
結局上辺だけなのよ！

典型的な
童貞ってところね！

あーやだやだ、
二度とその童貞
くさい面私に見せないで
くれる？

なんだよっ！
約束も何もただのパシリじゃないか！
そもそも最初にちゃんと
お茶買ってきただろ！

そういう杏莉ちゃんは昔から
手癖が悪すぎるんだよ！
頼み事聞けなかったからって
蹴るのはやりすぎだよ！

ぐっ…！

なっ！

ちよっ…



なんなの！
正宗のくせに生意気
なのよ！

離れろ童貞野郎！

ゴッ

なにっ！急にっ！
掴みかかってんのよ！

ほーほー



もういい！
あんた覚えときなさいよ！

しまった…
ついカッとなっちゃった…
明日も怒ってたらどうしよう…

ガラッ

あれ…？

喧嘩しちゃったの？
もしかしてお昼休みにしてたこと、
杏莉ちゃんにバレちゃった？

バッ



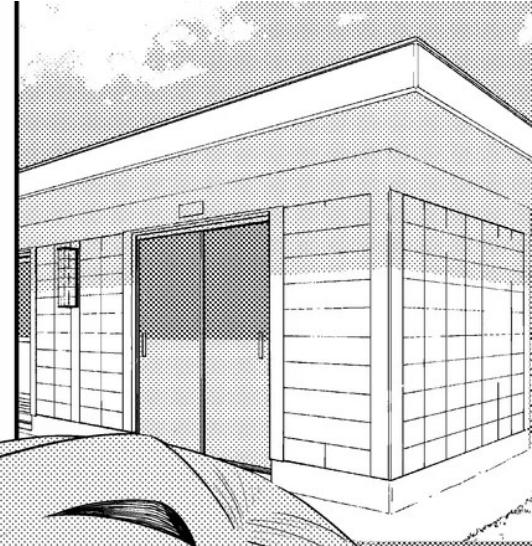


ま、まずいよ…
いったいなんで
こんなこと…

カチャ

えー
いやなの？

いいや…
でもなんで…



だって、唯ちゃんだけで
なんてずるいでしょ？

このねー
みんながほしがってる
ものはこのも
ほしくなっちゃうんだよねー

なんだかさいきん唯ちゃんが
正宗くんのこと物欲しそうに
見る気がしたから気になってたの

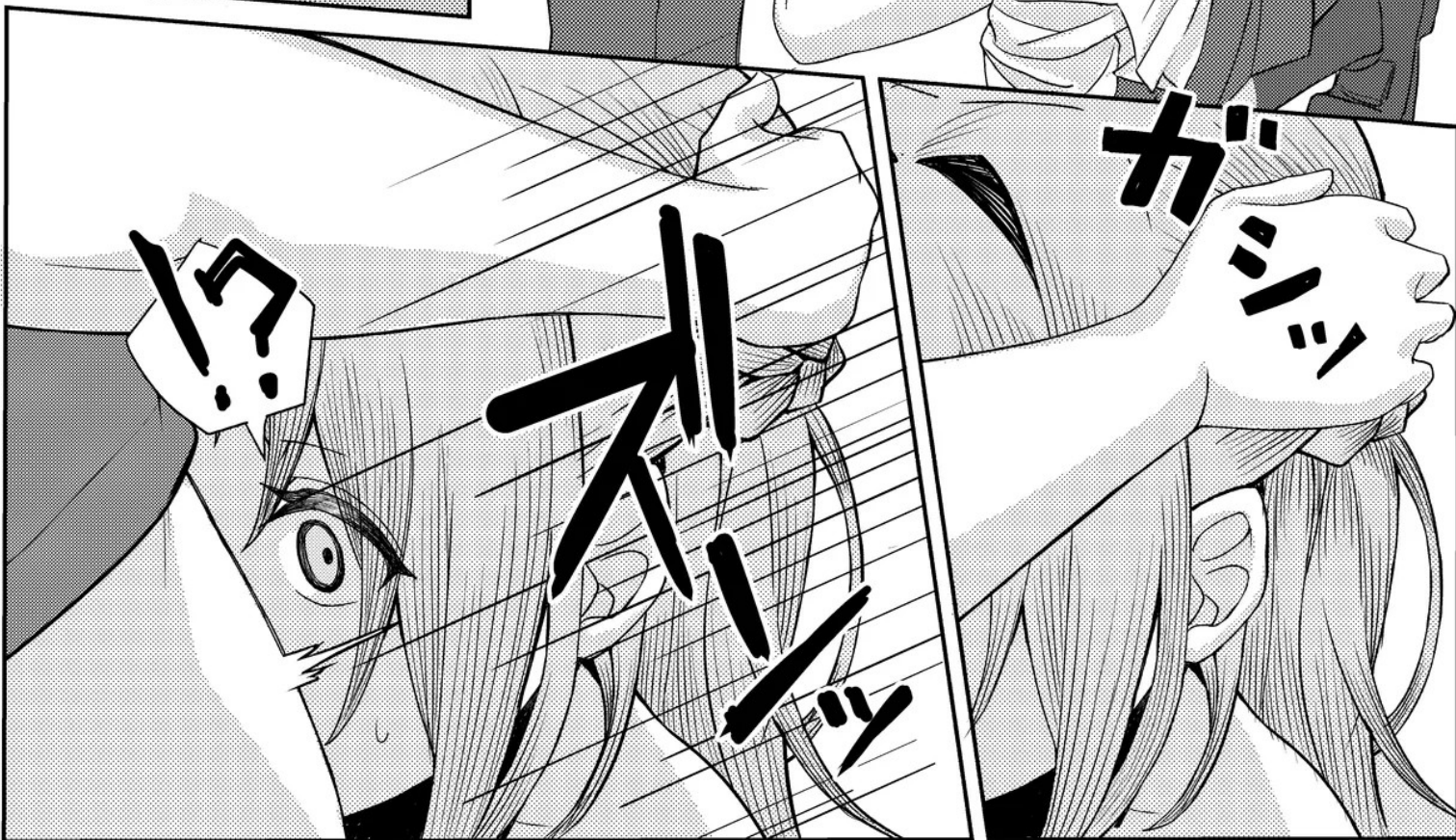
いやっ、それが
よくわからなっ…

うっ！

えー、中学入る前あたりまでは
普通に遊んでたんだけど…
気づけばいつのまにか
なんかギグシヤクしちゃって…

そういえば杏莉ちゃんとは
いつからあんな感じなの？

ふうん、
そうなんだ



た、太刀川さん!?

唯華って呼べって
言っただろ?

あれだけのほしそうな顔
してたくせにもう別の子に手出す
なんてキミもなかなか
悪いやつだね…

いやっ、
これはっ…

なんえここが…
っというかちよっとまっ…

ゆいひゃん!?

ぐほっ

かほっ

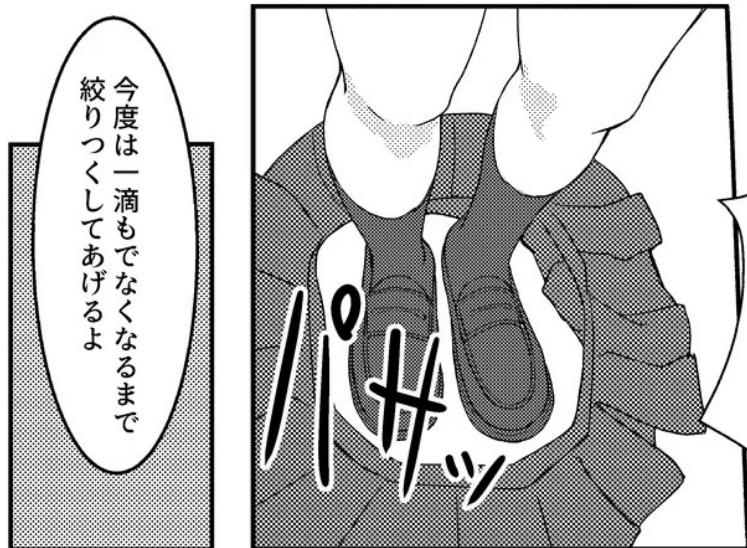
ヒク

どひゅっ

毛ガ

ズッ





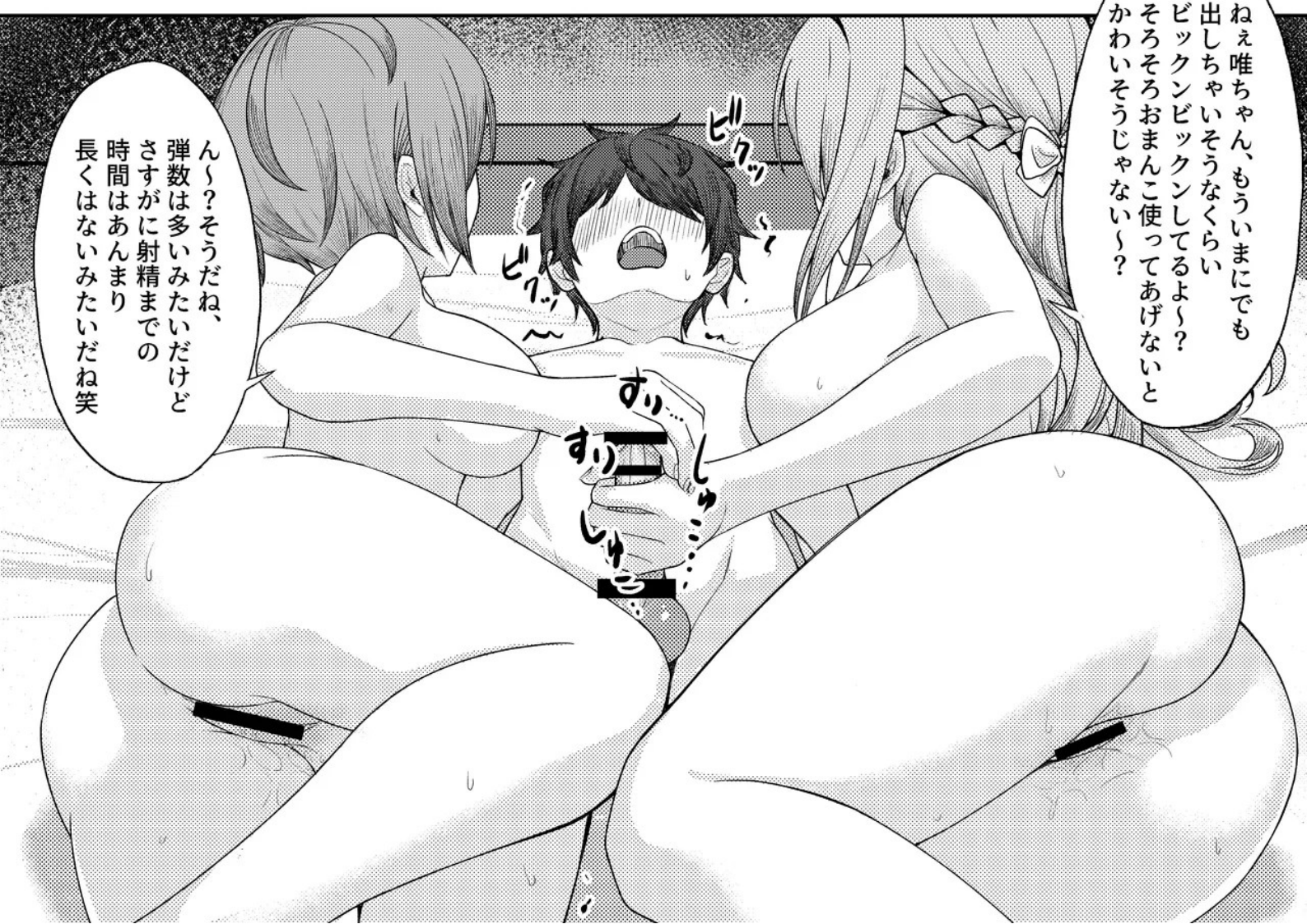




まったく、

お仕置きだったのに
ずいぶん気持ちよさそうに
しちゃって…

あはっ！すっごい
切なそうな顔
だめだよ？
こんなのでイッちゃったら



ねえ唯ちゃん、もういまにでも
出しちゃいそうなくらい
ビクンビクンしてるよ？
そろそろおまんこ使ってあげないと
かわいそうじゃない？

ん？そうだね、
弾数は多いみたいだけど
さすがに射精までの
時間はあんまり
長くはないみたいだね笑

そういえば聞いて
なかったけど、
キミはだれかと
セックスしたことは
あるのかな？

それはっ…
もちろんないっ…
です…

ふふっ笑、
まあそうだろうね

んちゅん♡

ぬる…

んむ!?

なに、
心配しなくても大丈夫だ。

私好みになるまで
きちんと手取り足取り
教えてあげるからね♡

ふはっ…

はっ

はっ

キミのおチンチン、私のおまんこで
しっかり啜えこんでゴシゴシしてあげる

初めてなのに膣内出し
キメて気絶するほどイキまくらせてあげる

私以外の体じゃ満足
できないようにしてあげるよ

ほら、キミの節操のない
童貞ちゃんぽのさきつぽが
入っちゃったみたいだよ？

うっ…

どうだい？
童貞卒業の瞬間の
感想は？



バチュンッ!!

んっ…!
想像ッ…以上に…
あんっ…!
馴染むじゃないか…

あ♡

私もっ…!気持ちよく
なってきたよ…!

やっぱりキミは
いいねっ!

はっ

ズッ

ズッ

バチュン

バチュン

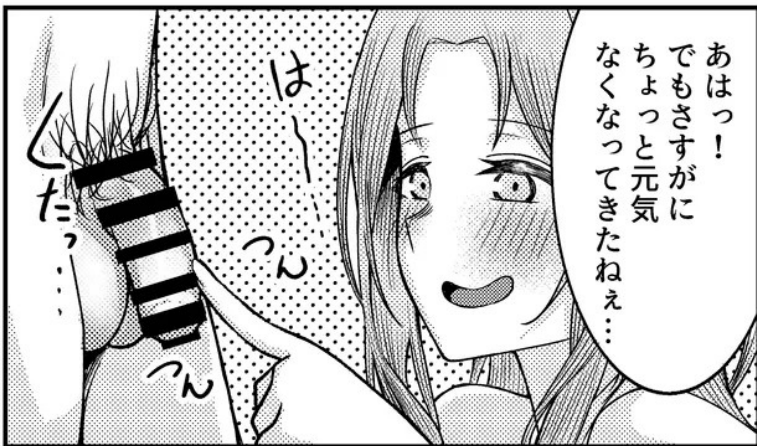
ズッ

あん

ズッ

バチュン

この調子でもっと!もっと
楽しませてくれよ!



あはっ！
でもさすがに
ちよっと元氣
なくなってきたねえ...



は
これならまだまだ
頑張れそうだね！

す
すごーい！

まあ、まだこのと
えっちしてないんだから
当然なんだけどねー

ほら♡
見えるかな、

さんざんお預けされて
ここのおまんこ、
こんなにとろとろに
なっちゃってるんだよ？

ごしり...

おまんこ...♡

おいで...

めちやくちやに
なるまで使っていいよ♡



このさんっ！

ズッポッ

んあッ

ズッポッ

あッ



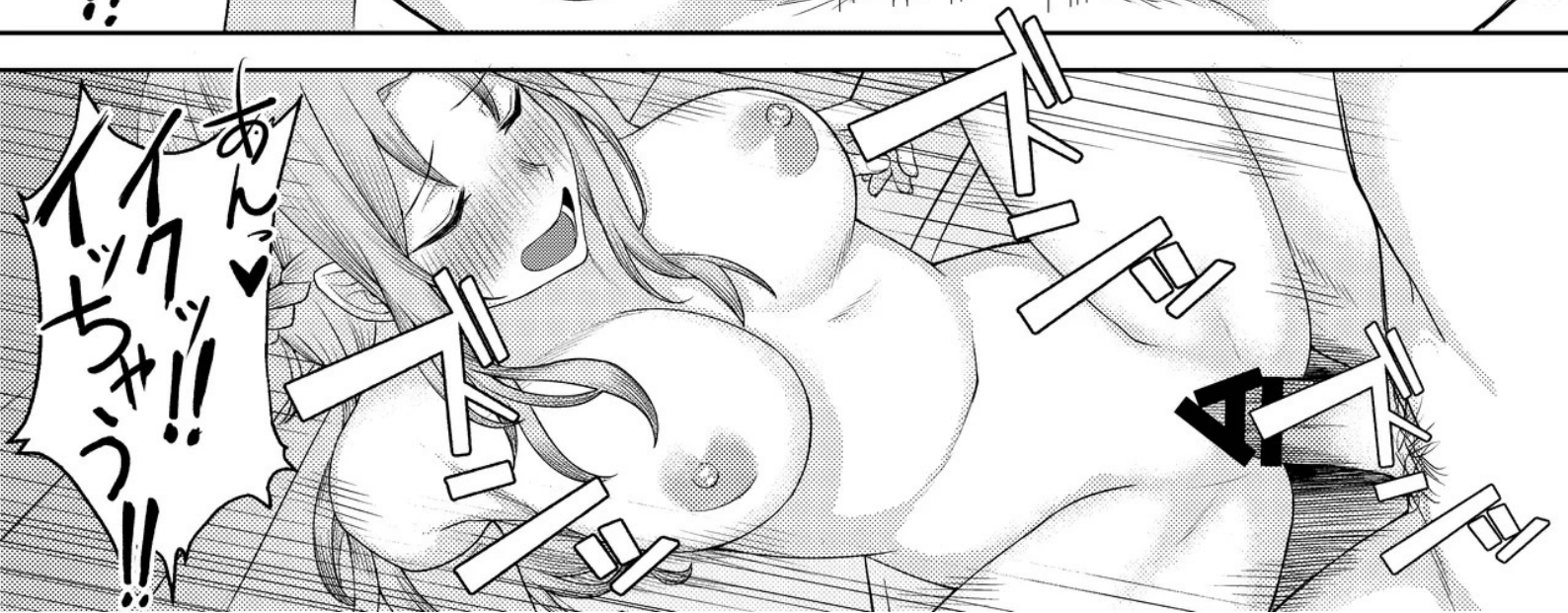
うっ！
あったかくて...ぬるぬるで...
どこまでも吸い付いてくる...！

ズッポッ

あッ

んあッ

えっ...えへへ...
こののっ！
おまんこ気持ち良い？
必死に腰降っちゃって
かわいいね...





あっ♡あっ♡
いっぱい出てるっ♡

すごいよっ…
頭ふわっって
なる♡



もうそこからは
無茶苦茶だった

でもまだ終わりじゃないよ？
言ったら？
一滴も残さず絞り尽くすって

またずいぶん
出したね笑



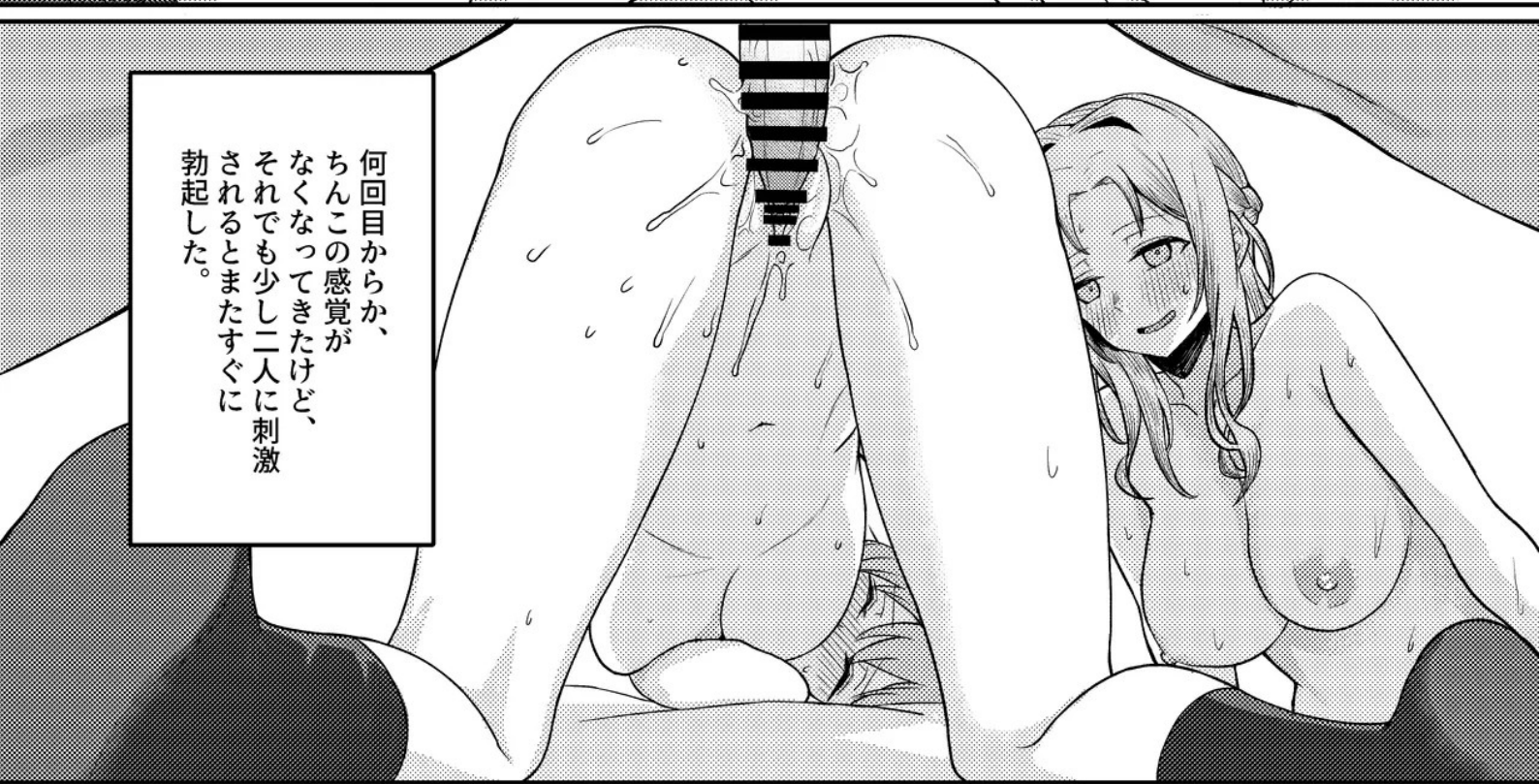
はあっ…

はあっ…

はあっ…♡
おまんこタプタプに
なっちゃってるよぉ♡



結局そこから本当に休む暇もないまま腰を振り続けた。



何回目からか、
ちんこの感覚が
なくなってきたけど、
それでも少し二人に刺激
されるとまたすぐに
勃起した。



意識も朦朧としてきて
どこまでが自分の体なのかも
わからなくなっただけ快感だけは
不思議と消えず、
ずっとこうしていられたら
なんて薄くなっていくなか意識のなか、
ぼんやりと考えていた。

結局全然部活に集中
できなかったな...

はあ...

いつからあいつと
まともに会話できなく
なっちゃたんだろ

ハア...

蹴ったり殴ったり
なんてやりすぎだって
わかってるのに...

さすがに明日会ったら
今度こそちゃんと謝ろ...

おん!!

まったくこんなところで
盛っていったいどの
馬鹿どもよ...

ムカつくから
どんな顔してんのか
拜んでやるわ

カ...

